

題材名『物語の世界 ～エルマーのぼうけん～』

(5時間)

【題材について】 ※ PR文「“エルマーのぼうけん”の挿絵になるような楽しい絵をかこう」

- 教師による“エルマーのぼうけん”の音読を聞きながら、自分が心に残った場面を想像力豊かに自由に絵に表現することができる。
- 自分の表現したい場面に合った画用紙の形を選び、思いをふくらませることができる。

【本時のめあて】

- ◎ 場面の様子や自分の気持ちに合わせて、表し方を工夫しよう。(図画工作)
- ◎ 自分の気持ちを大切に、心をこめていねいにかこう。(人間形成)

本時の展開	
学 習 活 動	教 師 の 支 援 (☆個別支援アイテム)
1 本時のめあてを知る。 ・ “エルマーのぼうけん”の音読を聞き、自分が心に残った場面を絵に表す。 2 自分が絵に表したい場面を決め、それに合った画用紙の形を選んで、名前ペンで下書きする。 3 自分の思いに合った色を絵の具でぬる。 4 できた作品に「場面の紹介カード」を貼り、鑑賞し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教師が、“エルマーのぼうけん”を児童が想像力をふくらませやすいように、ゆっくり音読する。</li> <li>○ 3種類の形の画用紙(普通の長方形、細長い長方形、正方形)を準備し、児童のイメージに合った画用紙を選ばせる。                      ☆ 発想が浮かばない児童に付いては、どんな場面が心に残っているか語り合ったり、「トラの写真」を見せることで、イメージをわかせたりする。</li> <li>○ 絵の具の使う色は特に指定せず、自分の思いに合った色を自由に使わせる。</li> </ul>

【成果と課題】・・・ヒット題材にするためには？

- ・ 3種類の画用紙を準備したことで、児童の思いに合った絵をかくことの支援につながった。
- ・ 絵の具をぬっていない白い部分が残る児童については、導入の段階での支援の工夫を感じた。(例えば「森の木の葉の形や色はどんな形?」「トラの毛並みは?」「暗闇に光る目はどんな感じ?」など・・・)

写真・資料 《個別支援アイテム》

